

事業計画書目次

[脱炭素・GREEN×EXPO推進局]

2款2項1目

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和7年度		令和6年度		増△減(7-6)		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	GREEN×EXPO広報・推進活動事業	870,755	860,755	348,389	348,389	522,366	512,366	○
	計	870,755	860,755	348,389	348,389	522,366	512,366	

令和7年度 事業計画書

事業局課	脱炭素・GREEN×EXPO推進局	GREEN×EXPO推進課	新規拡充	■ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	1	
歳出予算科目	一般会計	2 款 2 項	1 目	政策番号	26	施策番号	6
事業名称	GREEN×EXPO広報・推進活動事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和7年度	870,755	0	0	10,000	0	860,755
令和6年度	348,389	0	0	0	0	348,389
増▲減	522,366	0	0	10,000	0	512,366

歳出		令和4年度	令和5年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
予算	事業費	119,231	139,269	2,241,000	1,716,000	18,000
	市債+一般財源	119,231	139,269	2,231,000	1,711,000	18,000
決算	事業費	105,194	173,628			
	市債+一般財源	104,194	171,628			

事業概要 (アクティビティ)	平成27年6月に米軍から返還された旧上瀬谷通信施設において、国際的な園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献を目的としたGREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）の開催に向けた取組を進めます。（令和4年度より開催主体である公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会が主体的に博覧会開催に向けた取組を行い、本市は開催地自治体として、これまでに培った市内の行政ネットワーク・地域の強みなどを活用し、博覧会協会や地元経済界等と連携した広報プロモーション・機運醸成、関係機関との調整、ボランティアの募集、市民参加（共創）プログラムの企画等の取組を推進します。）							
事業指標① (アウトプット)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
イベントと連携したPR機会数	単位	目標	-	22	30	30	-	-
	回	実績	14	30				
事業指標② (アウトカム)	年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
博覧会に対する認知度（市内）	単位	目標	-	-	90.0	90.0	-	-
	%	実績	34.7	45.7				
事業目的	私たちの生活に大きな影響をもたらす気候変動に着目した、環境と共生し市民の皆様と共につくる、「環共」をテーマとする日本で初めての国際博覧会です。自然・人・社会が共に持続するために、地球の限界や脱炭素社会を見据え、「人々の環境への意識や行動は2027年の横浜から変わった」と言われるよう準備を進めていきます。							
背景・課題	深刻な気候変動が社会経済活動にも大きな影響を与えている中で、自然の持つチカラを活用した地球課題解決方法としての「ネイチャーベースドソリューション」「サーキュラーエコノミー」を以て、「カーボンニュートラル」「ネイチャーポジティブ」の実現を目指します。							
根拠法令・方針決裁等	AIPH開催申請・承認 閣議了解「2027年国際園芸博覧会の開催申請について」 令和九年に開催される国際園芸博覧会の準備及び運営のために必要な特別措置に関する法律 BIE認定、2027年国際園芸博覧会基本計画							
根拠・データ等	・閣議了解「2027年国際園芸博覧会の開催申請について」より抜粋 神奈川県横浜市における国際園芸博覧会については、2027年（令和9年）に開催することとし、国際博覧会に関する条約上の開催申請手続を進めることとする。 本国際園芸博覧会は、気候変動等の世界的な環境変化を踏まえ、我が国が培ってきた自然との関係性の中で、自然環境が持つ多様な機能を暮らしにいかす知恵や文化について、その価値を再評価し、持続可能な社会の形成に活用するとともに、国際的な園芸文化の普及、花と緑があふれ農が身近にある豊かな暮らしの実現、多様な主体の参画等により幸福感が深まる社会を創造することを目的とする。 ・「令和九年に開催される国際園芸博覧会の準備及び運営のために必要な特別措置に関する法律」より抜粋 (趣旨) 第一条 この法律は、令和九年に開催される国際園芸博覧会（以下「博覧会」という。）が国家的に重要な意義を有することに鑑み、博覧会の円滑な準備及び運営に資するため、国際園芸博覧会協会の指定等について定めるとともに、国の補助、国有財産の無償使用、寄附金付郵便葉書等の発行の特例等の特別措置を講ずるものとする。							
事業スケジュール	・平成30年度：「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会 基本構想案」の策定 ・平成31年度：政策局国際園芸博覧会招致推進室を設置、「国際園芸博覧会横浜誘致推進協議会」の設立 ・令和2年度：都市整備局上瀬谷整備・国際園芸博覧会推進室を設置、[2027国際園芸博覧会推進委員会]の設立 ・令和3年度：開催申請についての閣議了解、2027年国際園芸博覧会協会の設立 ・令和4年度：広報プロモーション・機運醸成、関係機関との調整、基本計画策定・公表 ・令和5年度：広報プロモーション・機運醸成、関係機関との調整 ・令和6年度：広報プロモーション・機運醸成、関係機関との調整、脱炭素・GREEN×EXPO推進局を設置 ・令和7～8年度：広報プロモーション、海外向け機運醸成、博覧会協会と連携したボランティアの募集及び研修実施、市民参加（共創）プログラムの企画・募集・参加者調整 ・令和9年3月～9月：GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）開催							
事業開始年度	平成28年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		7年度	6年度	差引(増減)	増減説明
	1	GREEN×EXPO推進広報費	600,000	345,000	255,000	事業進捗に伴う広報プロモーションの強化による増
2	GREEN×EXPO推進活動費	123,100	0	123,100	事業移管による6年度皆減及び事業拡充による増	

細事業(事業内訳)					る増	
	3	市民参加企画調整費	140,000	0	140,000	新規事業による増
	4	事務費	7,655	3,389	4,266	他都市との連携による事務の増
	細事業合計		870,755	348,389	522,366	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	中林 都	大賀 俊洋	秋葉 心之輔